

奥穂に向う。その一歩はまず鉄  
 製のハシゴ登りより始まる。  
 フックと5月の暑い体  
 験が頭をよぎる。  
 ハシゴとハシゴの  
 隙はもういがかうガラ  
 した音が鳴るが雪も少  
 ないし問題は無い。  
 高度を上げるに徒  
 い風は更に強烈に吹  
 きまくる。  
 まるで氷くを思懐  
 に感じせまいとする  
 意気悪い風だ。  
 ハシゴを回す。皆  
 んな元気だ。  
 今年は足が揃って  
 いるので来た。



12/31 夜明け 奥山北尾根

ファインダーの向うには昨年登  
 った槍ヶ岳はリ雨煙をポンポン上  
 げている。  
 ジャングルムがすばらしい。眼  
 をこらすと登山者が岩場で微妙な  
 トラバースをしている。  
 頂上はすぐそばであった。少し  
 センチメートルになる。  
 昨年の槍はそうでもなかった  
 のだが……。

私が一足先に頂上に  
 立ち登る。登頂シ  
 ーンをハシゴに収め  
 る。相変わらずものす  
 ごい風が吹きまくる。  
 そして一人一人に  
 登頂の喜びを語って  
 もらう。  
 最後に私の番にな  
 った。しかし、私は  
 不覚にも途中で言葉